科目名	特別講義６							年度	2026
英語科目名	Special Lecture 6							学期	通年
学科・学年	音響芸術科　２年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	三好敏之・ゲスト講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン・エンジニア・プロデューサー		

【科目の目的】

主体的に講義に参加し、エンタテインメント業界の知識や問題意識を学ぶ。その知識を2年生前期の学習に活かす視点を獲得し、講義を通じて卒業後の自身の指針を発見する。

【科目の概要】

特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。

【到達目標】

A.主体的に講義に参加する。
B.エンタテインメント業界の知識や問題意識を、２年生前期の学習の場に活かす視座を得る。
C.講義をきっかけに各自が２年後期に向けた今後の自分の指針を発見する。

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。なお、授業時数の４分の３以上出席しない者は評価を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	主体的に講義に参加する		講義に参加する		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	エンタテインメント業界の知識や問題意識を、２年生前期の学習の場に活かす視座を得る		エンタテインメント業界の知識を、２年生前期の学習の場に活かす視座を得る		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	講義をきっかけに各自が２年後期に向けた今後の自分の指針を発見する。		２年後期に向けた今後の自分の指針を説明できる		到達目標Cについてさらなる努力が必要
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

特になし

【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、授業への参加姿勢と最終課題によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	特別講義６	年度	2026
英語表記	Special Lecture 6	学期	通年

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1	特別講義とは	授業対象講義の意義がわかる	3	
			2	課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3	課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題 実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3	課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1	第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2	課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3	課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3	課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1	第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2	第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3	特別講義の可能性	授業対象技術を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等